

総務企画防災常任委員会行政視察報告書

平塚 茂

○愛知県半田市

「マイレポ半田の概要と災害時における活用について」

【所見】

「マイレポはんだ」は民間のソフトをそのまま導入し、市内の道路等の破損や改善の要望などを、導入ソフトの地図表示による位置情報や、現場写真を市民の皆さんに直接スマートフォンから投稿していただくことで、解決に向けて迅速に対応するシステムということである。また、災害の発生が予測される事態においては、システムを災害画面に切り替え、職員や消防団員が、直接応動現場やパトロールにより発見した、危険状況や災害発生状況を直接投稿することで、迅速な災害対応を図っているとのことであった。

通常運用の、実績としては、年間100件ほどの対応がなされている。また、解決できないものや県、警察所管の案件については、そちらに対応を依頼して、その旨を投稿者に返信しているとのことである。運用状況は、おおむね良好で、心配された、悪質な投稿などは発生していないとのことであった。

危険個所の改修などに、迅速に対応できる点や、今までの電話や書類による改善要請の時は要請を受けたのち、職員が現場に一度調査に行き対応の判断をすることが必要であったが、導入後は直ちに対応できるメリットが大きいという事だった。導入経費は年間50万円程度という事であり、費用対効果は大きいのではと感じた。足利市においても是非導入の検討がなされるとよいと思う。

○愛知県高浜市

「市役所本庁舎整備事業について」

【所見】

高浜市においては、旧市役所本庁舎の老朽化、耐震性能の不足から、市役所本庁舎の建て替えの検討がなされてきた。財政が厳しいという、市民の声もあり、検討した結果、リース方式による市役所本庁舎の建て

替えを進めたとのことである。

市役所本庁舎は事務事業を行う「事務所」であるという割り切った位置づけをして実用本位で簡素な作りの本庁舎となっていると感じられた。

徹底した床面積の削減にこだわり、書類保存のスペースなどの削減に努め、書類保存のルールも変更し不要な書類の整理に努めたということで大変参考になった。この他、簡素で決して広くない市長室には、市長自ら率先して実用本位の部屋にするという意志を感じた。

特筆すべき特徴は本会議場であった。ある意味権威の象徴であると思う市議会本会議場が多目的室と位置付けられ、本会議場の議席が全て移動式となっており、議席をかたづければ通常の会議スペースやイベントの部屋として利用可能であるという事であった。さらに市役所内部利用だけでなく、市民一般にも開放しているという事であり非常に驚いた。このような本会議場の利用をする市議会は、他に聞いたことない。

高浜市議会議員の皆さんが、このような本会議場の使い方に理解をされ建設を進めたことは実に柔軟な発想の市議会であると思った。

リース契約については、財政負担を平準化することができるというメリットがある面と、20年後にはリース契約が切れて、資産がゼロになってしまうということのどちらが良いのか非常に難しい判断であり、今後我が足利市でも同様な公共施設建設をする場合、悩むところであると思った。

市を代表する市役所本庁舎という施設の在り方について、示唆に富んだ方式であり参考になった。

以上